



Beethoven Symphony No.9 in Shimane

しまね文化ファンド
助成事業



芸術文化振興基金
助成事業



第22回島根県民文化祭
共催事業

「第九」初演200周年

第九

第33回 県民手づくり
「第九」コンサート in 島根

2024年12月8日(日) 開演:午後2時 島根県民会館 大ホール

■主催/島根第九をうたう会 ■共催/島根県文化団体連合会・(公財)しまね文化振興財団・島根県民会館 ■協賛/島根日産自動車株

薄紫の山脈

鳥根県民の歌

作詞 米山 治
作曲 古関 裕而

Moderato 明るく

うすむらさきの やまなみ は
はるか きぼうの くもをよび
いそかぜきよき ろくじゅうり
みどりの うみに はるたてば
おきの しまやまゆめのごとあ
あうる わしのわが しまね

一、薄紫の山脈は
はるか希望の 雲を呼び
磯風清き 六十里
みどりの海に 春たてば
おきの島山 夢のごと
あ、うるわしの わが島根

二、山に幸あり 山を踏め
海に幸あり 波に乗れ
玉なす汗を 陽にあびて
働くところ 日本
行手かやく 光あり
あ、ゆたかなる わが島根

三、香りゆかしき 伝説の
み国譲りの 往古より
こゝろ一つに むつびあう
九十万の 県民の
平和の歌は 今ぞ湧く
あ、やすらげき わが島根

ごあいさつ



「島根第九をうたう会」会長
小林 淳一

本日は、「第33回県民手づくり「第九」コンサートin島根」にご来場いただき誠にありがとうございます。

今回も、多くの方々のご協力とご出演をいただき、盛大にコンサートが開催されますことを心からお礼申し上げます。

本日の第1部では、出雲市出身の柳楽毬乃さんのヴァイオリン独奏をお楽しみいただきます。柳楽さんは、京都市立芸術大学大学院を修了後、県内外で幅広く活躍なさっています。

第2部の「第九」の指揮者は、松江市出身の伊藤 翔さん、そしてソリストには梶田彩加さん、吉川秋穂さん、野津良佑さん、永見 樹さんの4人の声楽家をお迎えしました。素晴らしい方々にお揃いいただきました。

「第九」が初めて演奏されたのは1824年5月7日で、ペリーの黒船来航の約30年前で、今年が初演200年となります。ウィーンでの初演時、ベートーヴェンは既に聴力が衰えていたものの指揮をし、絶大な好評だったとされています。ベートーヴェンの名言「苦悩を突き抜けて歓喜にいたれ」そのものようです。以来200年「第九」は世界各地で人々に大きな感動を与えてきました。

今回のコンサートに向けて、5月から練習を重ねてきましたが、ご来場の皆様には「歓喜のもとで皆兄弟となる」という感動の大合唱と演奏をご堪能いただけるものと思います。

Profile



©K.Miura

指揮者 伊藤 翔

Itoh Sho

中学校まで島根県松江市で過ごす。桐朋学園高等学校音楽科及び桐朋学園大学指揮科卒業。ローム音楽財団の奨学金を得てウィーン国立音楽大学へ留学。

指揮を秋山和慶、小澤征爾、黒岩英臣、E・アチェル、湯浅勇治、K・マズアの各氏に師事。

第5回ルトスワフスキ国際指揮者コンクール第2位。第1回ニーノ・ロータ国際指揮者コンクール第1位、及びオーケストラ賞を受賞。第26回エネルギー音楽賞受賞。

これまでに大阪フィル、大阪響、神奈川フィル、九州響、京都市響、群馬響、新日本フィル、仙台フィル、都響、中部フィル、東京シティ・フィル、東京フィル、東響、名古屋フィル、日本センチュリー響、日本フィル、兵庫県立芸術文化センター管弦楽団、広島響、山形響等に客演。海外では、ジェシヨフ・フィルハーモニー管弦楽団やアブルツツェ交響楽団への客演が好評を博す。

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員、神奈川フィルハーモニー管弦楽団副指揮者、東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンスを歴任。

また合唱指揮者として2017、2018年NHK交響楽団の公演を成功に導いた。2023年4月より東邦音楽大学非常勤講師。



Kajita Ayaka

ソプラノ 梶田 彩加

島根県出雲市出身。出雲芸術アカデミーで森山由紀美、長岡知穂両氏に合唱指導を受け、第10回いずも音楽コンクール小学校歌唱の部最優秀賞、第10回松江プラバ音楽コンクール小学校歌唱の部最優秀賞受賞。

島根大学教育学部に進学後、「プラバ光の杜プロジェクト2020 イルミネーションコンサート」「第5回ノヴィー音楽祭」「第33・34回プラバニューイヤーオペラコンサート」「2022年出雲フィルハーモニー交響楽団第25回定期演奏会」に出演。また「第66回島根大学声専合唱団定期演奏会」において、フォーレ《レクイエム》のソプラノ・ソロを務める。

声楽を渡邊志津子、佐々木直樹の両氏に師事。現在、島根県内の中学校において音楽科教諭として勤務。



Yoshikawa Akiho

アルト 吉川 秋穂

島根県松江市出身。大阪教育大学教育学部教養学科芸術コース卒業。京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程修了。滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール声楽アンサンブルソロ登録メンバー。

オペラでは、『カルメン』タイトルロール、『ミカド』カティーシャ役、『ヘンゼルとグレーテル』ヘンゼル役などを演じる。また、モーツァルト『聖母マリアへのリタニア』、ラター『マニフィカート』、ベートーベン『第九』アルトソリストなどにて出演。

渡邊志津子、玉井裕子、日紫喜恵美の各氏に師事。



Notsu Ryōsuke

テノール 野津 良佑

くらしき作陽大学、同大学院、マスカニー・オペラ・アカデミーで研鑽を積む。

声楽を勝部俊行、田中誠、藤田卓也、蓮井求道の各氏に師事。R. レドーリア、R. カッツァニーガ、C. A. デルチア、F. ミカレッリの各氏より指導を受け、音楽学を森泰彦、丸山桂介の両氏に師事。

IZUMOpera、北九州シティオペラをはじめとする各地のオペラ、宗教曲、交響曲の公演、各種コンサートへソリストとして出演。主なレパートリーに《ドン・ジョヴァンニ》ドン・オッターヴィオ、《愛の妙薬》ネモリーノ、《椿姫》アルフレード、《カヴァレリア》ルスティカーナ、トゥリッドゥ、《ラ・ボエーム》ロドルフォ、《夕鶴》与ひょう役等がある。

これまでに島根県立芸術文化センター音楽院、IZUMOpera、出雲の春音楽祭、しまね県民オペラ、ゴールドニ歌劇場等の合唱指導・指揮に当たる。

現在、出雲芸術アカデミー音楽院指導者、北九州シティオペラ会員、まつえ「夢☆未来塾」プレゼンター。



Nagami Tatsuki

バス 永見 樹

島根県松江市出身。島根大学教育学部音楽教育専攻卒業。

声楽を山内ゆかり、佐々木直樹の両氏に師事。大学在学中より、J.S. バッハの教会カンタータやミサ曲、他多数の合唱曲に参加し研鑽を積む。

シューベルト「ミサ曲」、フォーレ「レクイエム」、J.S. バッハ「クリスマス・オラトリオ(第1部・第3部)」でバスソロを務める。オペラ「道化師」にシルヴィオ、「蝶々夫人」に神官役で出演。

第33～35回プラバ・ニューイヤーオペラコンサートに出演。

現在、島根県公立高等学校音楽科講師。

Program

第1部 ヴァイオリン独奏

ベートーヴェン: ロマンズ第2番へ長調 作品50

ベートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ第9番イ長調 《クロイツェル》作品47より
第1楽章



ヴァイオリン 柳楽 穂乃

出雲市出身。

6歳よりヴァイオリンを始める。京都市立芸術大学を経て、同大学院音楽研究科修士課程器楽専攻(弦楽)を首席で修了。在学時になかうみ交響楽団とメンデルスゾーンヴァイオリン協奏曲を共演。

東京国際芸術協会より受講費全額助成を受け、ウィーン国立音大マスタークラスへと派遣される。第8回松江プラバ音楽コンクール第1位及びコンクール大賞受賞。第16回KOBÉ国際音楽コンクール優秀賞他受賞多数。

「佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ」に3年間在籍。

第71回全国植樹祭しまね2021にて御前演奏。また「題名のない音楽会」などに出演するなど、幅広く活動を行なっている。

これまでにヴァイオリンを井川晶子、芦原充、玉井洋子、玉井菜採、豊嶋泰嗣、田村安祐美の各氏、ヴィオラを小峰航一氏、室内楽を上森祥平、Albert Lottoの各氏に師事。

元大阪フィルハーモニー交響楽団契約団員1stヴァイオリン奏者。



ピアノ 代 香織

島根大学教育学部特別音楽課程卒業。

ピアノを中井京子、曾田範子、島畑齊各氏に、声楽ピアノ伴奏法を三浦洋一氏に師事。

'96年ソロリサイタル。'00年中華人民共和国福建省に於て中日音楽文化交流演奏会に出演。'05年社会福祉法人みずうみ法人歌「みずうみのうた」を作曲。

'08年よりJR東海日本アーカイブス音楽を作曲他多数。'04年より作曲家白鳥澄夫氏のもとで研鑽を積む。山陰フィルハーモニー管弦楽団、なかうみ交響楽団とピアノ協奏曲を共演。松江プラバ少年少女合唱隊をはじめ、島根第九を歌う会では第1回目よりピアニストを務め、現在合唱指導部伴奏部副部長。

平成29年度島根県文化奨励賞受賞。

現在、島根県立大学人間文化学部保育教育学科非常勤講師。

第2部 交響曲第9番ニ短調作品125「合唱付き」

Beethoven作曲

曲目解説

ベートーヴェンの第九交響曲は、雄大壮麗な交響曲であり、古今独歩の傑作である。この曲の表題は、「シラーの歓喜頌歌による終末合唱を有する交響曲」としてされており、シラーの詩が第四楽章の合唱の歌詞に用いられていて、全曲の中心思想は、この「歓喜頌歌」に集中している。声楽(4人の独唱者と大合唱)が交響曲の中に使用されたのは、音楽史上これが最初である。しかし、西洋音楽の歴史をさかのぼるなら、音楽の主体は声楽にあったし、またバロック時代の音楽でも、シンフォニアといえは声楽・器楽一体化された音楽を意味していた。ベートーヴェンの音楽がバロック的音楽に深く根を下ろしていたことからすれば、交響曲の中に人声を導入することは簡単な作業ではなかったとしても、「第九」の総合音楽は、いわば必然的帰結であったといえる。



Ludwig van Beethoven

この曲が作られた時、ベートーヴェンが全く耳が聞こえなくなってしまい、無明の闇にたとえられるような音のない世界に投げ込まれていた。その苦難の中から朗らかに歓喜への頌歌を歌い上げ、「苦悩を経た歓喜」を永遠の音に表したのである。彼は真に芸術をもって人生の苦難を克服し、神聖化された人間の魂の詩をこの交響曲によって万世に轟かせたのである。

■第一楽章

アレグロ・マ・ノン・トロppo、ウン・ポコ・マエストーソ
(速く、ただし控え目に、そしてやや威厳をもって)
ニ短調2/4拍子 ソナタ形式

冒頭の主題の提示は有名で、五度ずつ三回下降するモチーフをヴァイオリンが提示し、これを反復して次第に高潮していく。タターという短い音型が「第九」全体を支える核モチーフの役割を果たしているが、このモチーフが創生されてくるのは天地創造に対応するものといえよう。

■第二楽章

モルト・ヴィヴァーチェ(極めて速く活発に)
ニ短調3/4拍子 スケルツォ

主部は極度に昇華された純粋な生命的リズムの饗宴である。ティンパニーのオクターヴ奏法も活用されている。プレストのトリオでは、早くも終楽章の主題が変形された形で出され、終章の歓喜が至純な生命賛歌に拠り立つものであることを暗示する。

■第三楽章

アダージョ・モルト・エ・カンタービレ(極めて遅く、かつ歌うように)
変ロ長調4/4拍子

ベートーヴェンが書いたアダージョのうちでも、最も美しく崇高な曲のひとつである。この楽章の調和した美しさは、いわば夜空に輝く星辰の美、天体の調和の美、およびその調和を司る超越者の実在を感知し得るときに、完全にその美を開示することになるであろう。

■第四楽章

プレスト(極めて速く)
ニ短調3/4拍子

第一楽章の第一主題を変形させたファンファーレで始まり、これを否定するような形で、すぐ低弦のレシタティーヴォが出される。第三楽章までの彼岸的なものを否定的に高揚させつつ、より一層超越的・神的世界に自己を高めようとするところである。以下、第一、第二、第三楽章とこれまでの経過を回想しながら、これを否定的に、しかし止揚する形で扱いつつ曲は進み、やがて歓喜のテーマが提示される。

この楽章は、究極的にはこのテーマの引き出しと提示、およびここで出された歓喜のテーマによる変奏曲の形で構成されている。

冒頭バリトンが歌う「お、友よ、このような調べではなく、もっと快い喜びに満ちた調べを歌おう」の部分は、シラーの詩ではなく、ベートーヴェン自身が書き加えたものである。

歓喜の主題は、独唱、合唱、四重唱、また合唱と、次々に現れ、美しい歌詞とともに非常に感動を生み出していく。ひた押しに押し上がってきた力は白熱の頂点に達し、全管弦楽のあらゆる楽器は合唱と一体となり、声を限りに歓呼して豪宕無比のこの大曲は終わる。

対訳

An die Freude (F.シラー原詩)

O Freunde, nicht diese Töne!
Sondern laßt uns angenehmere anstimmen,
und freudenvollere.

Freude, schöner Götterfunken,
Tochter aus Elysium!
Wir betreten feuertrunken,
Himmlische, dein Heiligtum!
Deine Zauber binden wieder,
was die Mode streng geteilt,
alle Menschen werden Brüder,
wo dein sanfter Flügel weilt.

Wem der große Wurf gelungen,
eines Freundes Freund zu sein,
Wer ein holdes Weib errungen,
mische seinen Jubel ein!
Ja, wer auch nur eine Seele
sein nennt auf dem Erdenrund!
Und wer's nie gekonnt, der stehle
weinend sich aus diesem Bund.

Freude trinken alle Wesen
an den Brüsten der Natur,
alle Guten, alle Bösen
folgen ihrer Rosenspur,
Küsse gab sie uns und Reben,
einen Freund, geprüft im Tod,
Wollust ward dem Wurm gegeben,
und der Cherub steht vor Gott.

Froh, wie seine Sonnen fliegen
durch des Himmels prächt'gen Plan,
laufet, Brüder, eure Bahn,
freudig, wie ein Held zum Siegen!

Seid umschlungen, Millionen!
Diesen Kuß der ganzen Welt!
Brüder! über'm Sternenzelt
muß ein lieber Vater wohnen.

Ihr stürzt nieder, Millionen?
Ahnest du den Schöpfer, Welt?
Such'ihn über'm Sternenzelt!
Über Sternen muß er wohnen.

歓喜の歌 詩 (小松雄一郎/訳)

おお、友よ、この調べではない!
もっと快い、欲びにみちた調べを
歌いはじめよう。
(ベートーヴェンの自作)

歓喜、美しき神々の火花、
楽園の乙女!
われらみな火の酒に酔い
天なる汝の聖殿に踏み入る!
世の習わしは厳しくわけ隔つるも、
汝が魔力が再び結びつける。
汝が優しき羽交の下に憩わば、
すべての人人は兄弟となる。

躍動する生命力をわがものとなし得た者は、
ひとりの友の友とならん。
ひとりの気高き女性を勝ち得た者は、
和して歓呼の声を挙げよ!
しかり、たとえ一つの魂とて
この地上にて汝がものと名付けるを得んや
そを勝ち得ざりし者は、
ひそかに涙ながら、われらの集いより去れ。

生きとし生ける者は、歓喜を
自然の乳房より飲む。
善きも、悪きもおしなべて
薔薇の径を辿る。
それはまた、われらに接吻と葡萄の蔓と、
死の試練を経た友をあたえた。
虫けらにも快樂があたえられ、
天使ケルビムは、神のみ前に立つ。

喜びよ、汝れたちの太陽が天空を駆るが如く、
壮麗なる天の軌道をわたるが如く、
駆けよ、兄弟よ、おんみらの軌道を、
喜びにみち、勝利に進む英雄の如く

百万の人人よ、わが抱擁を受けよ
この接吻を、全世界に!
兄弟よ、星の天蓋の上に
いとしき父はいまさん。

汝らひれ伏すや? 百万の人人よ、
創造主を予感するや? 世界の人人よ、
星の円蓋のかなたに、創造主を求めよう!
星たちの上に、創造主は住みたまわん。

「第九」に寄せて

島根第九に参加して

ベートーヴェン交響曲第9番は、何度聴いても心を揺さぶられる、私の大好きな曲です。
今年初めて参加させていただきましたが、毎回の練習がとても楽しく、歌う喜びを感じることができ、ベートーヴェンの世界観に少し近づけたような気がしています。
苦悩と絶望のなかでも希望を持ち続け歓喜へと導いていくベートーヴェンの「Freude」(喜び)の旋律が、オーケストラ

第九と出会い

もうすぐ第九…。もうすぐ第九…。やっと本番の日。毎年本番が終わってから、早く1年たって一、と心の中で楽しみにしながら1年を過ごしています。
小学1年生の頃から第九を聴きに来て、毎年迫力の演奏に感動させられていました。自分もあの舞台上に立ってみんなで声を合わせてみたいという思いから、小3の時の第九の帰り「来年は出演したい!」と両親に言い、やっと立つことのできた憧れの舞台。この第九ではここで出会うことのできた沢山の方々に支えられながら本番を迎えます。
初参加の時、緊張していた僕に、優しく声をかけてくださったり、わからないところ、難しいところを丁寧にわかりや

私の『第九』ストーリー

私は、保育所の送迎をしてくれた祖母の車の中で、『第九』の練習用CDのアルトを聴いて育ちました。私のために童謡のCDに替えようとしてくれるのを拒んで、意味もわからないながらアルトを歌っていました。なので、当然アルトが主旋律だと思い込んでいました。
小学生のときにアルトで初参加して、ソプラノのメロディーを聴いたとき、アルトよりもっと強い主旋律だと思いました。2回目にソプラノで参加したとき、アルト、テノール、バスはソプラノのメロディーを引き立たせるための位置付けではないことに気づきました。それぞれのパートが独立したメロディーをおおらかに歌っているのに、調和したひとつの音楽にまとまっているのが『第九』の魅力だと思います。
合唱の面白さを語っておいてなのですが、私は現在、クラリネットを演奏しています。合唱で参加していたとき、眼下で演奏するオーケストラへの憧れが強くなっていきました。吹奏楽

ソプラノ 上定 祐子

と声楽との調和により、壮大な感動のクライマックスへと向かっていく際には、鳥肌が立ち喜びが溢れます。まだうまく歌えないところもありますが、合唱のみなさんと一緒に楽しく歌いたいと思います。
伊藤先生をはじめご指導くださった先生方、ピアニストの先生方、実行委員のみなさまに心から感謝申し上げます。

テノール 土江 進大

すぐ教えていただきながら練習を積み重ねてきました。
みんなで演奏して音楽を作り上げ、会場が一つとなって「第九」を作り上げた時のあの感動、みなさんで「Freude」(喜び)を感じあい、分かち合えるのが最高の喜びです。
今年は第九初演200周年。社会の歴史の教科書にも載り、戦後から世界や全国各地で歌い継がれている第九。これからは全世界で、もちろんこの島根でも、いつまでも歌い継がれ、歓喜の歌が響きつづけてほしいです。
(伊藤先生の指揮、ソリストの皆さんの歌声、合唱もオーケストラも毎年素晴らしいです。僕もあんなふうになりたいな…。と思っています。今年も是非注目してください!)

クラリネット 岩浅 寿珠

部とJr.オーケストラでクラリネットを練習し、高校2年生のとき念願のオーケストラ初参加となりました。クラリネットは、特に3楽章でのアンサンブルが大切な要素です。1stと2ndが対等に演奏するところが難しいのですが、美しくとても面白い箇所なので、ぜひ注目して聴いてください。
また、今年からは、島根の第九がいつまでも続くコンサートであるために、大学で学んでいることを活かしながら広報部でSNSの更新を担当しています。まだ基盤を作っている段階ですが、これから島根の第九の魅力が伝わるようなアイデアを増やしていきたいと考えています。ぜひ、島根第九をうたう会のInstagramとFacebookをフォローして、楽しみに待っていてください。
最後になりましたが、本日はご来場いただき有難うございます。今年もお客様、出演者の皆様と共に『第九』の魅力を味わいたいと思います。

第九をうたう会

第九

役員

- 名誉会長 古瀬 誠
- 会長 小林 淳一
- 副会長 日下 純子 勝部 俊行
- 顧問 新田 英夫 本田 勝己 長岡 慎 菅澤 弘和
- 監事 植田 充弘 田立 善人

実行委員

- 実行委員長 勝部 俊行 ■実行副委員長 喜久里 諒 菊池喜代子 ■事務局長 角 久夫

Staff

	部長	副部長	部員
総務部	小豆澤伸司	高見 浩史	大森 由華 有田ちあき 松崎 真理
演奏部	友田 雅夫	金子 健雄 近藤 瞬	(合唱) 石田 侑生 大隅 宏明 田邊 香子 下田 綾子 (オケ) 藤井 敬之
広報部	野々内さとみ	寺津 豪佐	岩浅 寿珠 福間 裕子 小豆澤伸司(兼務) 多々納真吾
合唱指導部	森田 麗子	井上 大祐	勝部俊一郎 川西 悠紀 野津美和子 布野 浩志 古谷 孝子
伴奏部		代 香織	杉江 青波 本常 恭子
オーケストラ指導部	水間 満		

最高の演奏をするために…

手づくりステージ作り[練習]



前日のステージ作り

第34回(2025年) 県民手づくり『第九』コンサート in 島根 出演者募集!

さあ、一緒に
感動のステージへ!

「第九」を一度は歌ってみたい方!感動のステージを一緒に創りましょう!
練習はオーケストラ・コーラスともに5月から月1~2回の割合で行います。



結団式 2025年 5月 11日(日)県民会館大会議室
演奏会 2025年 12月 14日(日)島根県民会館大ホール

島根第九をうたう会 検索



出雲の國の箱庭
ぼたんと雲州人蔘の里

由志園

〒690-1492 島根県松江市八束町波入1260-2 TEL.0852-76-2255 FAX.0852-76-2508

〈営業時間〉10:00~17:00/イルミネーション期間中 10:00~20:30

www.yuushien.com 由志園 ゆうしえん 検索

コーラス

●ソプラノ

青木美和子(出雲市)
秋利 典子(松江市)
石井 あさ(千葉市)
石原 悦子(奥出雲町)
石橋かおり(松江市)
伊藤 智子(松江市)
上定 祐子(松江市)
大森 由華(松江市)
小立 明美(松江市)
勝部恵美子(松江市)
金瀬 照子(京都市)
狩野 麻実(松江市)
神崎 ふみ(千葉市)
小田 有湖(雲南市)
紙谷 文子(松江市)
黒田 寿子(出雲市)
佐野 美保(出雲市)
下田 綾子(松江市)
城市 則子(松江市)
高木ちひろ(松江市)
武田千恵美(松江市)
田邊 明美(松江市)
土江 聖美(松江市)
都築 晴美(出雲市)
永原 直子(松江市)
柳楽美美枝(出雲市)
野川貴代子(米子市)
野津美和子(松江市)
野村真由美(松江市)
早瀬 結美(境港市)
三浦 明美(松江市)
森屋 結(松江市)
山極 梓乃(出雲市)
与倉 節子(松江市)
福井 潤子(松江市)

松本 幸子(松江市)
山田 和子(東京都)
山根よし子(出雲市)
持田佐千代(松江市)
渡邊志津子(松江市)

●アルト

茜 芳子(大阪市)
家塚 順子(松江市)
伊藤 則子(松江市)
伊藤 廣子(松江市)
井戸原涼子(松江市)
岩浅 昭子(出雲市)
江角 香苗(出雲市)
遠藤 裕子(安来市)
岡田三枝子(東京都)
岡代 優子(松江市)
尾庭 成子(益田市)
勝部 文枝(松江市)
神戸理恵子(松江市)
菊池喜代子(松江市)
熊谷 保幸(米子市)
小原 千以(松江市)
杉谷美也子(松江市)
杉原 一枝(安来市)
角 いく子(安来市)
角 八重子(松江市)
武田 啓子(松江市)
田中佳預子(松江市)
千葉 朋子(奥出雲町)
寺田 富江(松江市)
永井 桂子(松江市)
永瀬 泰子(松江市)
野津 新子(松江市)
野々内さとみ(松江市)
濱村ようこ(松江市)

引野 由美(松江市)
原 紀子(安来市)
春木 宥子(松江市)
布野 安子(松江市)
古家 孝子(松江市)
松本 裕美(松江市)
峯崎 侖子(千葉市)
宮川 澄江(東京都)
目次 玲子(松江市)
森田 麗子(松江市)
和久利菜愛(奥出雲町)

●テノール

安達 俊二(松江市)
石田 侑生(雲南市)
尾崎 浩一(松江市)
小内 裕貴(松江市)
小村 好弘(松江市)
勝部俊一郎(松江市)
勝部 俊行(松江市)
金子 健雄(松江市)
川西 悠紀(松江市)
久保 雅義(出雲市)
熊谷 浩和(米子市)
佐々木幹法(安来市)
高田 誉寛(米子市)
高橋 泰臣(松江市)
高見 浩史(松江市)
田部 高久(飯南町)
田立 善人(松江市)
土江 進大(松江市)
寺津 豪佐(松江市)
野村 俊介(松江市)
藤森 聡(東京都)
本田 貢久(出雲市)
森脇 明美(安来市)

山崎健太郎(浜田市)

●バス

有馬 誉夫(松江市)
石原 和仁(松江市)
岩永 裕二(東京都)
井上 大祐(松江市)
大隅 宏明(松江市)
梶谷 宗克(出雲市)
川上 俊男(尾道市)
小池 優輝(松江市)
古志 勝俊(松江市)
佐々木 正(松江市)
白石 良憲(松江市)
周藤 建三(松江市)
菅澤 弘和(松江市)
砂田 敏彰(雲南市)
瀬崎 鶴夫(安来市)
田邊 勝志(松江市)
辻原 忍(松江市)
友田 雅夫(松江市)
細木 聖師(西宮市)
原 孝治(出雲市)
森山 法龍(雲南市)
吉岡 祐二(松江市)

オーケストラ

○コンサートマスター

●I st Violin

芦原 充(豊中市)
小豆澤伸司(松江市)
岩本いづみ(米子市)
○古田川達男(横浜市)
角 久夫(安来市)
高橋 美穂(出雲市)
坪倉はるな(安来市)
坪倉美歌子(安来市)
永見 信久(鳥取市)
柳楽 毬乃(京都市)

●II nd Violin

岡 春那(出雲市)
岡 恵美(出雲市)
加藤 聡(松江市)
河合 賢治(松江市)
小林 晏珠(松江市)
小林 圭一(松江市)
小林 圭子(倉吉市)
佐藤美和子(松江市)
永瀬 徳子(出雲市)
原 洋子(安来市)
藤下真理子(東京都杉並区)
牧野 花帆(松江市)
森山 智子(出雲市)

●Viola

青戸 優(松江市)
植田 充弘(出雲市)
岡田 冬子(大田市)
北山三枝子(岡山県鏡野町)
長澤 千江(松江市)
並河 整(松江市)
益尾 恵美(広島市)

●V.Cello

井上 洋子(米子市)
兼平 葉生(米子市)
喜久里 誼(松江市)
岸 忠明(出雲市)
鈴木 正典(出雲市)
地阪 光生(松江市)
西郡 至誠(松江市)
福岡 裕子(松江市)
渡辺 留里(松江市)

●C.Bass

大畑 珠里(出雲市)
岡崎由美子(松江市)
貝原 史子(浜田市)
鶴鶴 泉(松江市)
富田 博稔(松江市)
松本 昌大(松江市)
村上 満志(佐倉市)

●Flute

伊藤 早苗(出雲市)
園山 裕香(松江市)
西郡 紋(松江市)

●Oboe

大野 美奈(出雲市)
藤井 敬之(松江市)

●Clarinet

岩浅 寿珠(出雲市)
菅森 碧(出雲市)
松崎 真理(安来市)
水間 満(松江市)

●Fagott

五十嵐一浩(松江市)
林 真依(出雲市)
前之園省三(松江市)

●Horn

穂山 京子(米子市)
穂山 純果(立川市)
高橋 行仁(出雲市)
篠 圭輔(米子市)

●Trumpet

太田 憲治(松江市)
近藤 瞬(安来市)
鷺野 星夫(安来市)

●Trombone

伊藤 修(米子市)
山岡愛花梨(出雲市)
河口ひなの(出雲市)

●Timpani

吉木 昌志(安来市)

●Cymbal

武部 良枝(米子市)

●B.Drum

樋口慶一郎(松江市)

●Triangle

野口 智美(米子市)